

Media Contact:

荒井幸子

arai@blackmagicdesign.com

Tel: (03) 5361 6312

AvocaBlue Broadcasts によるメルボルン交響楽団の撮影、 Blackmagic Design 製品を使用

2017年6月26日 - Blackmagic Design はこの日、多数の受賞歴を誇るシンガーソングライター、ケイト・ミラー＝ハイドキー (Kate Miller-Heidke) 氏とメルボルン交響楽団の公演が、Micro Studio Camera 4K および Studio Camera 4K を使用して 4K で収録されたことを発表した。オーストラリアのテレビ制作会社 AvocaBlue は同公演の撮影にあたり、Blackmagic Design の ATEM 1 M/E Production Studio 4K ライブプロダクションスイッチャー、Smart Videohub 20x20 ルーター、HyperDeck Studio Pro 放送デッキなどから成るフライバックを構築した。

2017年始め、オーストラリアの著名なシンガーソングライターで女優のケイト・ミラー＝ハイドキー氏が、オーストラリア各地において複数のオーケストラ共にコンサートツアーを行なった。メルボルン交響楽団との公演はツアーの始めに行われ、トビー・パーキンソン (Toby Parkinson) 氏および技術監督のベンジャミン・ドウドニー (Benjamin Doudney) 氏により撮影され、Foxtel テレビのアート専門チャンネルで放送された。ポストプロダクションでは、Blackmagic Design の DaVinci Resolve Studio を使用して、ニュージーランドのオークランドに拠点を置く Department of Post が編集とカラーコレクションを行なった。

AvocaBlue は 5 台の Micro Studio Camera 4K および 2 台の Studio Camera 4K を使用して放送用の撮影を行なった。これらのカメラは全て ATEM スwitchャーに接続された。Micro Studio Camera 4K は演奏者やミラー＝ハイドキー氏のクローズアップを撮影用に舞台上の様々な場所に配置され、2 台の Studio Camera 4K はワイドショットの撮影用に、舞台正面に配置された。加えて、ライブスイッチングに ATEM 1 M/E Production Studio 4K および ATEM 1 M/E Broadcast Panel、7 台の CCU コントロールに ATEM Camera Control、カメラとの光ファイバー接続に Smart Videohub 20x20 および ATEM Talkback Converter 4K、ラインカットと選択したカメラの SSD 収録に複数の HyperDeck Studio Pro、4K でのモニタリング/テストに SmartView 4K および SmartScope 4K が使われた。

AvocaBlue の移動式セットアップは、アデレード交響楽団とミリアム・マーゴリーズ (Miriam Margolyes) 氏による「ピーターと狼」や、サー・アンドルー・デイヴィス指揮によるメルボルン交響楽団とバイオリン独奏者のマキシム・ヴェンゲーロフ (Maxim Vengerov) 氏の公演にも使用された。

ドウドニー氏は語る。「昨年 1 年をかけて、Foxtel テレビのアート専門チャンネルでの放送向けに、カメラ 7 台を使ったフライアウェイキットを構築し、メルボルン交響楽団、クイーンズランド交響楽団、アデレード交響楽団、オーストラリア・ワールド・オーケストラなどのオーストラリアの主要な交響楽団の生演奏を撮影しました。このキットは Blackmagic Design の製品を 100%使用して構築した、移動用の放送セットアップの一式ですが、持ち運びに便利のように内容が凝縮されています。このセットアップを使った最初の撮影は、メルボルン交響楽団のクリスマスコンサートだったのですが、非常にうまく機能したので制作スケジュールを拡大して、オーストラリア各地での撮影を含めることができました。」

「今回のケイト・ミラー＝ハイドキーの撮影のように、オーケストラの前に立ってパフォーマンスを行うアーティストの撮影を成功させるには特殊なテクニックが必要です。パフォーマンスの邪魔をしたり、指揮者と歌手と演奏者との間の視界を遮らないようにすることが極めて重要です。Blackmagic Design の機器はコンパクトなので、放送の品質に妥協することなく、キットの構築が柔軟に行えました」と同氏は続ける。

「Micro Studio Camera 4K は手のひらサイズにも関わらず、非常に美しい4K のフッターが得られます。コンサートのような照明が限られている状況でも非常に満足のいく映像が撮れました。サイズが小さいので、目に付かないように小ぶりの独自のカメラスタンドが作成でき、演奏者の間や舞台の前にスタンドを設置できたので、臨場感あふれる映像を視聴者に提供できました。」と同氏。

「この公演の質の高さは非常に高い評価を得たので、メルボルンでの収録の世界配信権を獲得しました。これは、ドイツの Unitel を通して行われます。同社は、その頃 4K の取り扱いを増やすにあたり適した映像を探していました。これも、Blackmagic Design の製品によるところが非常に大きいと思っています」と同氏は締めくくった。

撮影後のフッターはオークランドの Department of Post に送られ、DaVinci Resolve Studio を使って最終的な編集とカラーコレクションが行われた。

「DaVinci Resolve Studio は 4K の映像と非常に相性が良いですね」と Department of Post の総括マネージャーのジェームズ・ブルックス (James Brookes) 氏は語る。「AvocaBlue が基本的なカラーコレクションを全カメラで ATEM スイッチャーを通じて行っていたので、送られてきたフッターはすでに良い状態で、すぐにグレーディングに取りかかることができ、質の高いものを生み出すことに集中できました。カメラから直接フッターを DaVinci Resolve Studio に取り込むことができ、追加の作業が発生しなかったのは助かりました。」と同氏は締めくくった。

フォト

Blackmagic Studio Camera 4K、Micro Studio Camera 4K、ATEM 1 M/E Production Studio 4K、ATEM 1 M/E Broadcast Panel、ATEM Camera Control、ATEM Talkback Converter 4K、Smart Videohub 20x20、HyperDeck Studio Pro、SmartView 4K、SmartScope 4K、DaVinci Resolve Studio および他の Blackmagic Design 製品の写真は [こちら](https://www.blackmagicdesign.com/jp/media/images)
<https://www.blackmagicdesign.com/jp/media/images>

会社概要

Blackmagic Design は、映画、ポストプロダクション、放送業界に向けて世界最先端のビデオ編集製品、デジタルフィルムカメラ、カラーコレクター、ビデオコンバーター、ビデオモニタリング、ルーター、ライブプロダクションスイッチャー、ディスクレコーダー、波形モニター、リアルタイム・フィルムスキャナーを開発している。Blackmagic Design の DeckLink キャプチャーカードは、その品質と価格

で放送業界に革命をもたらした。また、エミー™ 賞を受賞した DaVinci カラーコレクション システムは、1984 年以降、テレビ、映画業界の中心となっている。Blackmagic Design は、現在も 6G-SDI、12G-SDI 製品、ステレオスコピック 3D、Ultra HD ワークフローなどの独創的な革新を続けている。世界をリードするポストプロダクションエディターやエンジニアにより設立された Blackmagic Design は、現在アメリカ合衆国、イギリス、日本、シンガポール、そしてオーストラリアにオフィスを構えている。詳細は www.blackmagicdesign.com/jp